

2008 年度

科目名 文化財科学実習Ⅱ	対象学科・学年 文学部文財3回生	担当者 広岡 公夫
授業テーマ 考古学・文化財学に関する自然科学的取り扱いの基礎		
授業の概要と目標 統計学の初歩や文化財の自然科学的取り扱いの基礎について、解説講義・実習・実験を行う。		
評価方法 実習のレポート，出席状況等を加味して総合的に評価する。		
テキスト なし	著者	出版社
参考書 考古学のための年代測定法入門 博物館実習マニュアル	著者 長友恒人 編 博物館講座協議会編	出版社 古今書院 芙蓉書房出版
授業スケジュール・内容 1～5. ステレオ投影法 (ステレオネットを用いた3次元の事象の2次元への投影) 6～8. 考古地磁気学と残留磁化獲得メカニズム (堆積残留磁化の模擬実験・残留磁化測定とデータ処理、他) 9～14. 地震学の基礎と震源・震央の決定法 (震度とマグニチュード・P波初動による震央決定・P-S走時による震央決定・水平動初動方向による震央の決定、水平動最大振幅によるマグニチュードの決定、他)		